



結核集団感染事例の発生について

呉市内において、厚生労働省の定める結核集団感染(※1)に該当する事例が発生しましたので、その概要等についてお知らせします。

1 概要

令和元年5月1日、市内の医療機関から肺結核患者1名の届出がありました。当該患者との接触者を調査し、患者と濃厚接触があったと考えられる家族や入院患者43名に健康診断を実施しました。

その結果、現時点で発病者(※2)2名、感染者(※3)8名が確認され、本日、厚生労働省に報告しました。

※1 厚生労働省の定める「結核集団感染」とは、同一感染源が2家族以上にまたがり、20名以上に結核を感染させた場合をいいます。但し、発病者1名は感染者6名として算定するので、本事案の場合は現時点で、「発病者2名×6＋発病していない感染者8名＝20名」となります。

※2 「発病者」とは、感染後、結核菌が体内で増殖し、様々な症状が現れている方です。

※3 「感染者」とは、結核菌に感染していますが、発病していない方で、他人に感染させる怖れはありません。

2 初発患者等の概要

初発の届出患者は、市内在住の20歳代の女性で、当該患者においては、5月2日から他の医療機関に入院し、服薬治療を継続しており、症状は改善しております。

なお、当該患者を含む発病者及び感染者に重篤な患者はいません。

3 発病者・感染者の状況

初発患者と濃厚接触のあった者の健康診断の結果は次のとおりです。(6月6日現在)

	健診対象人数	健 診 結 果			
		発病者数	感染者数	検査中	異常なし
家 族	4	1	2	1	
入院患者	25	1	1	8	15
友人など	14		5	9	
計	43	2	8	18	15

4 今後の対応

患者の接触者に対し、医療機関と連携して、継続した予防内服や健康診断を実施し、感染拡大防止に努めます。

◆市民の皆様へ

(1) ワクチン接種

結核は予防接種で発病を抑えたり、重症化を予防できる疾患です。1歳までにBCGワクチン接種を受けましょう。

(2) すぐ病院へ

結核の初期症状は、風邪によく似ています。咳や痰が2週間以上続いたり、急に体重が減るなどの症状がある場合は、結核を疑って早めに受診しましょう。

(3) 定期健康診断

結核は過去の病気ではありません。現在も年間約2万人の患者が新たに発生し、2千人以上が死亡しています。年に1回は必ず結核検診（胸部レントゲン検査）を受けて、健康管理に努めましょう。

◆報道に当たってのお願い

本資料提供は、結核に対する注意喚起を目的としております。

感染症の患者等の人権尊重について、ご理解の上、ご配慮いただきますようお願いいたします。

◆参考

【発生状況】

(単位：人)

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	
新登録患者数	55	49	53	45	43	53	39	41	38	
罹患率	呉市	22.1	19.8	21.7	18.6	18.5	23.1	17.2	18.1	17.0
	全国	19.0	18.2	17.7	16.7	16.1	15.4	14.4	13.9	13.3

※罹患率は1年間で新たに診断された患者数を人口10万対率で表したものの。

【集団感染発生事例】

(単位：件)

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
呉市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全国	31	40	72	53	44	46	40	43	27

※呉市においてはH20年に1件発生